

教科 (科目)	公民 (公共)	単位数	2単位	学年 (コース)	1学年
使用教科書	東京法令出版『公共』				
副教材等	東京法令出版『NEW COM. -PASS 公共』				

1 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 指導の重点

・進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

① 現代社会の基本的なしくみを理解したり、現代の諸課題に対する基本的な知識を身につけたりすることを目指す。

② 持続可能な社会づくりの主体となるという観点から、現代の諸課題を自分自身の問題と考え、課題意識を持って探究する姿勢を育む。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・現代の諸課題を追究したり解決したりするために必要な知識や技能を身につけようとしている。	・資料やグラフなどを正確に読み取り、インターネットや新聞などの情報を適切に取捨選択・活用して、現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察できる。	・授業に主体的に取り組み、現代の社会に対する関心を高めようとしている。

4 評価規準と評価方法

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・現代の諸課題を追究したり解決したりするために必要な知識や技能を身につけようとしている。	・資料やグラフなどを正確に読み取り、インターネットや新聞などの情報を適切に取捨選択・活用して、現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察できる。	・授業に主体的に取り組み、現代の社会に対する関心を高めようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査や小テストの分析 ・レポートやワークシートなどの提出物の内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査や小テストの分析 ・レポートやワークシートなどの提出物の内容の確認 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・レポートやワークシート、授業ノートなどの提出物の内容の確認 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 などから評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法	
4	第1編 公共の扉をひらくために 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方	5	教科書 副教材 プリント 新聞等	・「幸福とは何か」についてのディスカッション。 ・「10年後の自分について」のワークシート作成。	c b	発表の様子 ワークシート	
	5	第3章 公共的な空間における基本原理と日本国憲法		7	・公共的な空間における基本原理と日本国憲法に関する基本的な知識の確認。	a	定期考査
6	第2編 よりよい社会の形成に参画するために 第1章 日本の政治機構と政治参加	9		・「防災を考える」をテーマとしたワークシート作成。 ・日本の政治機構と政治参加に関する基本的な知識の確認。	b a	ワークシート 定期考査	
7				・授業ノートの提出。	c	提出物の確認	
8	第2章 経済のしくみ	9		・「お金で買えないものってある？」についてのディスカッション。 ・経済のしくみに関する基本的な知識の確認。	c a	発表の様子 定期考査	
9				・変化する日本経済に関する基本的な知識の確認。	a	定期考査	
10	第3章 変化する日本経済	6		・「仕事について考えよう」のワークシート作成。	b	ワークシート	
11	第4章 豊かな生活の実現	6		・国際政治のしくみと動向に関する基本的な知識の確認。 ・授業ノートの提出。	a c	定期考査 提出物の確認	
				12	第5章 国際政治のしくみと動向	6	・「難民問題を考える」についてのディスカッション。
1	第6章 国際経済のしくみと動向	6		・国際政治のしくみと動向、国際社会の現状と課題に関する基本的な知識の確認。	a	定期考査	
2	第7章 国際社会の現状と課題	5		・課題探究の各テーマごとの発表。	c	発表の様子	
3	第3編 持続可能な社会をつくるために	5					

計64時間 (55分授業)

6 課題・提出物等

・各テーマについてまとめたワークシートや授業ノートなどを提出する。  
・長期休業中に課題やレポートを課された場合は、その課題を提出する。

7 担当者からの一言

公共の時間に学ぶ内容は我々が現在生活している社会のしくみそのものです。これを十分に理解することによって、現代社会の一員としてよりよく生きるための指針にすることができます。日々のニュースなどに触れ、それに対して自分の意見を確立していくことが、現代社会を考察することにつながります。単に知識を覚えるだけではなく、現代の諸課題を考察できるよう日々努力していきましょう。